



RI 会長：ジェニファー・ジョーンズ

2620 地区ガバナー：浅原 諒蔵

会長：妻鹿 政光 幹事：栗原 伸夫 会場監督：山城 一哲

例会：毎週金曜日 19:00 - 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2022年8月26日(金) 晴 第1593回例会 週報 NO. 6

司会：竹内公一 会場監督補佐
点鐘：山城 一哲 会長
ロータリーソング「手に手つないで」

ゲスト

RI 第 2620 地区

ガバナー 浅原諒蔵 様

地区副幹事 渡辺一弘 様

同 坂上 康 様

静岡第5グループ

ガバナー補佐 坂田 茂 様

同 事務局長 上田 昌宏様

会長挨拶



本日は浅原ガバナーをお迎えしております。大変貴重なお話を伺えるかと思います。皆様ご清聴をお願いいたします。

天浜線花のリレープロジェクトに関して、公益財団法人日本花の会花の街づくりコンクールの一次審査が通り、8月22日月曜日、現地活動の二次審査が行われました。当クラブとしては多数の会員の方に暑い中、草取り作業にご協力いただきました。前年度社会奉仕部会長の鷹尾さん始め皆様本当にありがとうございました。今回の2次審査が通ると良いですね。

本日例会前に、ガバナーやガバナー補佐、正副会長幹事総勢10名で会長幹事会が開催されました。

そこでは私たちのクラブ運営や事業に対して、ガバナーから貴重なご意見をいただきました。本日の例会の挨拶で、そのことやPETS、地区協の事をお話するようにとご指示をいただきました。そこに出席して私が思ったことは、会員増強がとても大事だということです。浅原ガバナーは奉仕活動が会員増強の根源であるとおっしゃっています。静岡第5グループでは「花のリレープロジェクト」を実施していますが、これがクラブの活性化、地域の活性化になると思っています。

RI 会長からの、ロータリーにおける女性の割合を3割にという課題もあります。なかなかハードルは高いですが、未来をしっかりと想像して行きたいと思います。

幹事報告



・次週は休会です。次々週は浜松江之島高校ポスター審査会を予定しています。多数ご参加ください。

・9月9日例会終了後、理事会を開催いたします。

スマイル

♪山城一哲さん、栗原伸夫さん

本日はRI第2620地区ガバナー浅原諒蔵様はじめ、皆様ようこそお越しくださいました。どうぞよろしくお願い致します。



ガバナー公式訪問

☆進行：栗原伸夫 幹事

☆ガバナー紹介：

静岡第5グループ ガバナー補佐
坂田 茂様



浅原ガバナーは1951年生まれ、東京経済大学卒業。現在は各方面でご活躍されています。ロータリーは1996年静岡RCに入会。地区副幹事や地区委員を務められ、2014-2015年には静岡RC会長、その後2018-2019年静岡第3グループガバナー補佐などいろいろな役職を歴任されています。ロータリーへは大口寄付もなさっており、まさにロータリアンのお手本のような方です。

先般皆様をお願いしたウクライナ募金ですが、一昨日市長に渡してきました。市長も大変喜んでいました。ご協力ありがとうございました。

☆RI 第 2620 地区
ガバナー 浅原諒蔵 様



今年度、ガバナーを務めます浅原でございます。本日は浜松中ロータリークラブを公式訪問させていただく機会を得ましたことに感謝申し上げます。

公式訪問するに当り、可能な限り合同例会ではなく一つずつ訪問させていただきをお願いをしましたが、それは地区内 74 クラブあれば 74 通りの例会の進め方があることを体験したかったということと、各クラブご自慢の美味しい食事を出来るだけ味わいたかったからです。

さて昨年的小林年度に引き続き、私の年度も残念ながらコロナ禍のため PETS、地区研修協議会をリアルで開催できませんでした。特に PETS は各クラブ会長に直接、RI 方針や RI テーマについて説明する良い機会となる筈でしたが、適いませんでしたので本日、時間の許す限り丁寧にお話したいと思います。

今年度、ジェニファー RI 会長のテーマは「イマジネロータリー」です。これはロータリーといえども時代の流れ、変化に無縁ではなく時代に即したロータリーをイマジネして下さいという呼びかけです。ロータリーの本質は変わらないものの、新しいクラブの設立や受け入れ、DEI といった考え方がそれにあたります。

新しいクラブの設立を提唱するのは、従来型のクラブでは入会を希望しても仕事の都合などで、それが適わない人達を迎えるための工夫です。そして RI は DEI を今年度の最優先事項に位置付けています。ただ多様性、公平さ、インクルージョンと言っても、我々日本のロータリアンには理解しづらいと言いますか、馴染みにくいという側面があります。それを分かり易く話をすることがガバナーの

役割と考え、DEI についてお話したいと思います。

DEI の D、ダイバーシティ「多様性」の意味を「あらゆる背景を持つ人や、幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します」と RI は説明しており、そして「あらゆる」とは民族、人種、肌の色、言語、宗教等を指す訳ですが、この辺りが単一民族、単一言語の日本の社会にとって馴染みにくい部分ではないでしょうか。

私はこれをもっと日本のロータリー向けに分かり易く「多様性とは、一つは女性会員を増やすこと、二つ目は異業種、これまで自分達のクラブには居なかったような職業分類の人を会員として迎えよう」と説明しています。会員候補者を企業経営者や弁護士、医者といった従来からある職業分類ではなく、もっと違う分野に新たな候補者を求めることが、日本のロータリーにとっての多様性と考えます。

「公平さ」については、改めて話すまでもないと思いますので、ここでは割愛するとし、「インクルージョン」についての説明をします。RI ではインクルージョンを組織に所属する人、すべてを包み込んで受け入れることと定義しております。分かり易く説明しますと、入会して何年が経過したから、あの会員には今年、〇〇を担当してもらうといった具合に年数で役割を決めることは、インクルージョンに反します。ロータリーに入会して何年ではなく、その人に適した役割、その人が力を発揮できる役割を担ってもらうことがインクルージョンです。



限られた時間に全てをお話し出来ませんが、ガバナー月信 8 月号でも説明しておりますので、そちらも参考にいただければと思います。

最後に浜松中ロータリークラブ様の益々のご発展をご祈念申し上げて、ガバナー公式訪問挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



浅原ガバナー



渡辺地区副幹事と坂上地区副幹事



坂田ガバナー補佐と上田事務局長

SAA 司会 竹内 公一さん



ガバナーとの会長幹事会

17:30～18:30

会場：エグゼクティブルーム



花のリレープロジェクト

8月22日（月）

天竜浜名湖鉄道 二俣本町駅

